


● シンチ 図解取扱説明書

※製品の使用に入る前に必ずこの説明書と製品添付の説明書を合わせてお読みください

<p>シンチの部位名称</p>	
<p>ロープの通し方 シンチのプレート回転させて開き、溝に記載されたグリップする手とクライマーの図によって示されたとおりにロープを溝に通します。 クライマーの図がある溝の端からクライマーに繋がる側のロープエンド(ラッピングの際はアンカーに繋がるエンド)が出ていることを確認してください。</p>	
<p>シンチのプレート回転させて閉じ、ロープを内部に閉じ込めます。次にハーネスメーカーの取扱説明書に従ってロック(環付)カラビナを用いてあなた(確保者)のハーネスのビレイループに取り付けてください。 ※ロープはCEマーク(ヨーロッパ連合が定めた安全規格をクリアしたマーク)が付いたシングルロープに限ります。ダブル用ロープ・ツイン用ロープには絶対に利用しないでください。</p>	

ロッキングカラビナは写真のように上下2ヶ所のタイインポイントを直接連結する形で使わないでください。直接連結するとギアやロープの操作がうまく行えず事故や怪我などの原因になります。
 (注:タイインポイントが1ヶ所の場合やシートハーネス型はこの限りではありません。)



テスト(動作確認)

シンチを用いたビレイを始める前に、動作確認は必須です。

ロープを装填したシンチをハーネスに連結した上でクライマーに繋がる側のロープをしっかり力強く引き、効き目確かめてください。もし、シンチがロープをロックしなければ、ロープが正しく通されていません。適切に通されていれば、写真のような状態でロックされます。



ビレイ(シンチによる確保)

ロープをクライマーに対して繰り出すには、シンチを図示されたように右手で握ってください。その際、右手親指はレバーのあるプレート上の回転軸穴をふさぐ位置に、人差し指は裏側の回転軸穴をふさぐ位置に添えてください。ロープを繰出す時には、右手でシンチをクライマーと逆方向に引きつけるようにするとロープの流れがスムーズとなり不要なロックの作動を回避できます。ロープの繰り出しを上手に、そしてスムーズに行えるよう練習をしてください。クライマーの墜落を止めたり、確保するときは、右手がブレーキハンドとなります。**確保・ローリング・ラッペルいずれの最中にも、決して右手はブレーキ側ロープからは離してはいけません。**



リリース(解除)

シンチがロープをロックした状態から、リーダー(クライマー)へのロープを少し緩める場合、もしくは解除の必要がある場合は、右手(ブレーキハンド)をロープから決して放さずに、図のように銀色のリリースタブを左手で引き離します。くれぐれもロープから右手(ブレーキハンド)を放してはなりません。またロープをクライマーに対して繰り出す通常の状態では銀色のリリースタブを握ってはいけません。

**ロワー(吊り降り)**

クライマーを吊り降ろすには、左手の指を使いリリースレバーを引き下げます。左手の親指はリリースレバー軸の付け根に図のように押し当てレバー全体を握り、レバーをテコのように作動させて負荷を解除します。図のように親指と他の指を使ってテコの操作を行わない限り、リリースやクライマーのロワー(吊り降り)はきわめて困難です。単に力任せでレバーを引くだけではシンチの解除は行えず、かえってリリースレバーの不具合の原因となります。ロワーリング実行中はブレーキハンドを使ってのロープ制御保持はとても重要であり、掌のロープ火傷を防ぐためにクライミンググローブの使用を強く推奨します。

右図のように右レッグループに掛けたカラビナにブレーキエンド(シンチに入っていく側)のロープを通して方向を変えることでブレーキハンドによる制動がかなり楽になります。



レバー軸の付根に親指をしっかりと添えてレバー全体を握り操作します

右レッグループに掛けたカラビナでロープの流れる方向を変える

